

2020.10.14

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線 植物モニタリング活動

花よりも実が目立つ秋

サービスセンターのロビーに掲示してある表は、9月から12月までの赤塚公園の武蔵野台地崖線に生きている植物の動きを示していますが、10月の半ば以降では花が咲いている植物の数は少なくなってきて、その代わりに実を付けている植物が目立つようになってきています。この表では「実りの秋」が手に取るように分かります。

10/12のモニタリングでも、実を付けている植物をたくさん観察しました。

赤塚城址／武蔵野の農家を偲ばせる植物たち



←カリンの 実

赤塚城址の本丸跡の南側にある梅林はかつてこの地域で最大の農家だった沖田家が梅を生産していた名残りの林です。その梅林の隣、広場になっているところには母屋が建っていて、それに続いた前庭には柿畑や落（ふき）の畑で

した。まだ形跡が残っています。たわわに実を付けているカリンの木は昔の農家を偲ばせるものです。キンモクセイの花は短い命を終えて、地面一面に赤黄色の絨毯を広げていました。 →

上の写真の背景に生い茂っている木々はこの農家を北風から守っていた屋敷林です。母屋や納屋はもうとっくに取り払われてしまっても、かつての武蔵野の農





サワラの実



シラカシの実（どんぐり）

家の典型的な構造がこうしたところから偲ばれます。

雑木林はケヤキ、コナラ、ブナなどの落葉樹が主体ですが、屋敷林となるとヒノキやサワラなどの建材に使えるものや防風・防火効果があるシラカシなどの常緑樹も見られます。お茶の木（チャノキ）もたくさん生えています。昔の農家はお茶を自家栽培で作っていました。チャノキはツバキの仲間で、花は椿の花をごくごく小型にしたよう。今頃が開花期です。→



実・実・実・実……オンパレード

モチノキ



ガマズミ



クズ



ノササゲ



コムラサキ



まだ青いムラサキシキブとアオキ



ヤブミヨウガ



モニタリング(植物観察・記録)活動

だれでも歓迎です！

11月までの予定 10/19、11/2、11/9、11/16 いずれも 9:00 赤塚ため池公園梅林下出発

雨天中止 お問い合わせは赤塚公園サービスセンターまで ☎03-3938-5715